

# パワステオイルポンプ

**重要**

この度は、オイルポンプをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

以下の内容につきましては、交換作業着手前に必ずご確認頂きたく、宜しくお願い致します。

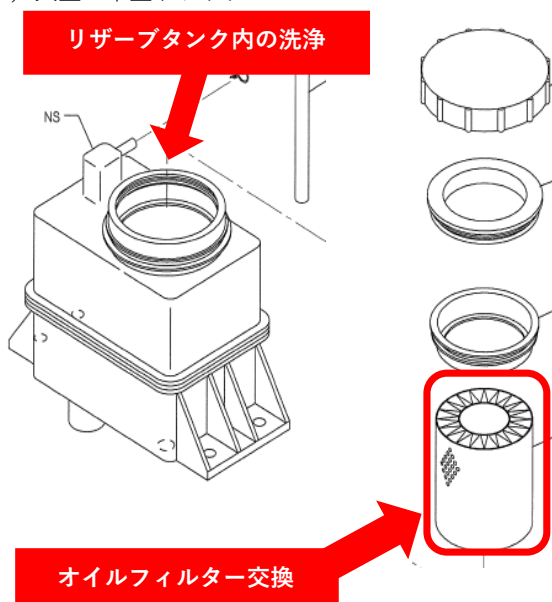
## 交換作業時のご注意

### 【作業開始前】

- 各部ボルトの締付けは各メーカーの指定トルクをご確認下さい。
- Oリングは新品に交換して下さい。また、保管、運送中のオイル漏れ防止用のプラグキャップは外してご使用下さい。
- リザーブタンク、ストレーナー、オイルラインのスラッジを除去する為、必ず全量オイル交換をして下さい。リザーブタンク内の汚れが酷い場合は取り外し洗浄して下さい。また、オイルフィルターを使用している車両は必ずフィルター交換して下さい。

(図1参照)

(図1) 大型・中型トラック



### 【取り付け中、取り付け後の確認】

- 接続の高・低圧ホース劣化、エアアの吸込みがないことを確認して下さい。
- ホース類の劣化に処急的な処置として接着剤等は塗布しないで下さい。  
→エアアを吸込み焼付きの原因になります。
- エアア抜き作業はリザーブタンクにオイルを補給し、エンジンは始動せずハンドルは左右に切ってください。リザーブタンク内の気泡が消えるまで繰り返し行って下さい。
- エンジンを始動させる際はリザーブタンクにオイルが入っていることを確認して下さい。
- 作業後は付近に付着したオイルを清掃し、各部のオイル漏れを確認して下さい。

### 【早期故障防止の為】

- パワステオイルの全量交換
- オイルフィルターの交換
- リザーブタンク内の清掃
- オイルラインの清掃

■返却の故品は同封のビニール袋へ入れて返却して下さい。

## トラブルシューティング

作業完了後、よくあるトラブル事例を記載致しました。もし、以下のような現象が発生した場合は、お手数ですが、もう一度ご確認の程、宜しくお願い致します。

現 象	原因と対処方法
オイル漏れをしている。	交換時漏れ出たオイルが本体に伝わり、オイル漏れと見違える場合がありますので、再度清掃をしてからオイル漏れの有無をご確認下さい。
エア抜きが完了しない。	吸入、吐出側のガスケット、Oリングからエアを吸い込んでいる可能性があります。
異音がする。	<p>リザーブタンク内、オイルラインのスラッジ・汚れを確認し、汚れている場合はオイル交換、洗浄をお願いします。</p> <p>オイルフィルター付き車両については、新品フィルターと交換して下さい。（図2参照）</p> <p>図2</p>